

令和 4 年 4 月 14 日

(※受付番号)

教 育 長 様

研究コース
S 研究テーマ指定 (F)
校園コード (代表者校園の市費コード)
761760

代表者 校園名 : 大阪市立長橋小学校
 校園長名 : 坂 幸之介
 電 話 : 06-6561-4692
 事務職員名 : 藤原 由依
 申請者 校園名 : 大阪市立長橋小学校
 職名・名前 : 主務教諭・藤川昌代
 電 話 : 06-6561-4692

令和 4 年度 「がんばる先生支援」研究支援 申請書

◇本研究の支援を受けたく、次のとおり申請します。

1	研究コース	コース名	S 研究テーマ指定 (F)	研究年数	新規研究 (1年目)
2	研究テーマ	「一人ひとりを大切にする人権教育推進の観点から、 多文化共生教育の充実を図る」 —民族学級・フィリピン学級・多文化共生学級の活動を通して—			
3	研究目的	<p>テーマに合致した目的を端的に記載してください。</p> <p>昨今、国際化が急速に進展し、民族や文化の多様性がますます拡大しつつある社会にあって、「多文化共生教育」の実現をめざすことは、大阪市教育振興基本計画で示されている通り、本市の重要な課題である。本校では、同和教育を出発点として、民族学級の開設に至り、さらに、フィリピン学級・多文化共生学級の発足と、「一人ひとりを大切にする教育」の一つのあり方を多文化共生教育の実践として取り組んできた。今年度、子どもたちの声から始まった民族学級が開設されて50周年を迎える。多文化共生教育の意義を再確認するとともに、ちがいをちがいとして認め合い、互いに尊重しながら豊かな心を育む民族学級の実践をはじめとした、多文化共生教育の研究と実践を発信し、民族教育・外国人教育の必要性を広めていきたいと考える。また、これらの教育をさらに発展させ、その成果を全市に発信することで、国際都市大阪における多文化共生教育の方向性を提案し、意見をいただくことで、本校の「一人ひとりを大切にした教育」のさらなる発展につなげていくようにする。</p>			
4	研究内容	<p>継続研究は、前年度の成果と課題を分析した内容を踏まえて記載してください。</p> <p>「大阪市多文化共生指針」においても、外国につながる児童生徒への支援を充実するにあたり、「多文化共生教育の推進」が掲げられ、各学校園においてすべての子どもたちに対し、「世界における多様な文化を相互に理解し合い、異なる文化をもった人々とともに生き、協働することを通して新しい価値を生み出す」多文化共生教育に系統立てて取り組んでいくことが示されている。世界における多様な文化をお互いに理解しあう態度を養い、文化や伝統を尊重し、多様な文化を理解する態度を養うとともに、異なる文化をもった人々と共に生きていく資質を育むことをめざして、教育課程内外で体系的に多文化共生教育の取組を開拓すること目標に掲げている。そこで、本研究では、下記の2点について重点的に研究を行う。</p> <p>①在日朝鮮人の子どもや、さまざまな国や地域につながりのある子ども達の民族的自覚を高め、自分のつながりに誇りをもち、大切にしようとする気持ちを育てる取り組みを進める。 ②さまざまな国や地域につながりのある子ども達の存在を知り、文化や習慣、民族性のちがいを認め合い、互いに尊重することができる子どもを育てる取り組みを進める。</p> <p>子ども達が自然に相手を尊重し合える関係を作っていくには、教職員が校内の環境や雰囲気を整えていくことが重要である。挨拶、掲示物、日常の声かけや、民族学級、フィリピン学級・多文化共生学級と原学級をつなぐ取り組みなど、異文化にふれる機会が日常的に教室や校内の中に存在する環境づくりを進めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民族学級や、フィリピン学級・多文化共生学級での取り組みを教室で発表する場を設けたり、掲示板を通じて活動内容を伝えたりして学校全体の子ども達に知らせる。 ・各学級で、それぞれの国の民族の歴史、ことば、遊び、音楽、風習、地理、食文化などを学ぶ機会を作る。 ・多文化共生教育のカリキュラムを作成し、実践していく。 ・全校への発表会を行い、それぞれの学びを発表し、全校児童で文化を知る。 <p>すべての子ども達が、異なる民族の「ひとつ文化」に正しく出会い、「ちがいを豊かさ」に変える多文化共生教育の取り組みを進めるために、講師を招聘し、民族学級の歴史や存在意義、朝鮮の歴史や在日朝鮮人の歴史的背景など、教職員が学べる現職教育に取り組んでいく。</p>			

		日程や内容など、研究の過程がわかるように詳細に記載してください。
5	活動計画	<p>①民族学級 ・開級式(5/13, 5/27)、発表会(11/16)、修了式(3月予定) ・学年ごと毎週1回金曜日に実施 活動内容：遊び、ことば、歴史、音楽、地理、作品づくり、風習、食文化(調理実習)など</p> <p>②フィリピン学級・多文化共生学級 ・開級式(5/26)、発表会(2月予定)、修了式(3月予定) ・毎月2回(第1、第3木曜日)実施 活動内容：遊び、ことば、歴史、音楽、地理、作品づくり、風習、食文化(調理実習)などを学び交流する。※地域の方をゲストティーチャーとして招いて教えていただく。</p> <p>③各学級での交流活動 ・課内実践 各学年1時間講師による学習 ・総合の時間、学級活動での交流 ・給食交流</p> <p>④全校活動 ・民族学級発表会(11/16) ・民族多文化フェスティバル(2/18)</p> <p>5月 全体研修会</p> <p>6月 年間研修計画の作成 南大阪民族交流会参加 市人教大会参加</p> <p>8月 校内夏季研修会実施</p> <p>10月 中国語弁論大会参加</p> <p>11月 民族発表会実施(参加者アンケート) 応援幕に、自分たちが学んできたことや感謝の気持ちや激励のメッセージなどを参加者に記入してもらい今後の取り組みへの希望を形にする。 南大阪こども民族音楽会参加 朝鮮人学校と交流</p> <p>2月 民族多文化共生フェスティバル実施(参加者アンケート) 指導主事要請 教員・児童への事後アンケート実施・分析・結果の考察 講師を招聘し、校内研修を5月～11月の間に4回以上実施</p>
6	見込まれる成果とその検証方法	<p>大阪市教育振興基本計画に示されている、<u>子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上および教員の資質や指導力の向上</u>について、見込まれる成果を端的に記載し、その成果について、客観的な指標により必ず数値で示すことができる検証方法を記載してください。</p> <p>【見込まれる成果1】 民族学級、フィリピン学級・多文化共生学級児童の、民族のアイデンティティが高まるとともに、自尊感情も高まる。</p> <p>《検証方法》 民族学級発表会、フィリピン学級・多文化共生学級発表会後にアンケートを実施し、「いきいきと演目の発表をできたか」の質問の項目で、児童の肯定的な回答を85%以上にする。</p> <p>【見込まれる成果2】 日本人児童も含めた全校児童が、それぞれの国や地域の文化を知り、自国の文化を尊重するとともに互いの国や地域の民族性や文化などを尊重する態度が育つ。</p> <p>《検証方法》 民族学級発表会、フィリピン学級・多文化共生学級発表会後にアンケートを実施し、「活動の様子が伝わったか」の質問の項目で、児童の肯定的な回答を85%以上にする。</p> <p>【見込まれる成果3】 多様な価値観や文化を持つ子ども同士が互いのちがいを認め合い、高め合える多文化共生教育を推進することで、豊かな心が育つ。</p> <p>《検証方法》 生活アンケートの「自分には、よいところがありますか」の質問に対して、肯定的な回答を75%を以上にする。</p>

	<p>【見込まれる成果4】 教員の研修を通して、多文化共生教育の方向性を見い出し、「一人ひとりを大切にする教育」の具体的イメージをもてるようになる。</p> <p>『検証方法』 教員へのアンケートを実施し、「研修会に参加して役に立った」の肯定的な回答を80%以上にする。</p>				
6	<p>【見込まれる成果5】 本研究を推進し、成果等を全市に発信し、意見をもらうことで、多文化共生教育のさらなる実践へつながる。</p> <p>『検証方法』 参加者へのアンケートを実施し、「持ちかえって実践したい取り組みがあった」の肯定的な回答を80%以上にする。</p>				
7	<p>◆研究発表【必須】 報告書提出日（令和5年2月24日）までに必ず行ってください。</p> <p>○研究発表の日程・場所（予定）</p> <table border="1"> <tr> <td>日程</td> <td>令和 5 年 2 月 18 日</td> <td>場所</td> <td>大阪市立長橋小学校</td> </tr> </table> <p>◆代表校園HPでの共有【必須】</p> <p>他の共有方法を計画している場合は記載してください。</p>	日程	令和 5 年 2 月 18 日	場所	大阪市立長橋小学校
日程	令和 5 年 2 月 18 日	場所	大阪市立長橋小学校		
8	<p>代表校園長のコメント</p> <p>本校には、韓国・朝鮮、中国、フィリピン、台湾、ベトナム、スペインにつながりのある子どもたちが在籍しており、全ての子どもたちに占める割合は40%を超えており。日本語指導が必要な子どもは各学年に複数名在籍しており、日本語指導にも注力している。 これらの子どもたちが自分に自信をもち、自身のつながりに誇りをもてるようになるとともに、周りの子どもたちが、さまざまな国や地域につながりのある子どもたちの存在を知り、文化や習慣、民族性の違いを認め合い、互いに尊重することができるよう、本校では「一人ひとりを大切にした人権教育」推進の観点から多文化共生教育の充実に努めている。 本校の多文化共生教育は、①外国につながりのある児童の人権尊重 ②誰もが安心して過ごせる学校 ③多様な価値観や文化の尊重 ④多様性を魅力ある学校づくりにつなげることを進めており、大阪市多文化共生指針の考えに合致するものである。また、上記に述べたように、外国につながりのある子どもをはじめとする全ての子どもたちのための異文化理解・多文化共生教育を進めているものもある。この取組を全市に発信し、多様な考え方を教授願うことで、本校の取組の深化と進化を、発展をめざしていくものとして、本事業の参画をめざしている。国際都市大阪の学校で、これからあるべき姿を示せるよう尽力していきたい。</p>				